

教育のためのパートナーシップ
可能性を拡大するためのハイレベル・イベント：教育資金調達の新時代

ご列席の皆様

日本は、教育を人間の安全保障を実現するための「人への投資」と位置づけ、自国の経験を礎に、長年にわたり教育分野の国際協力を推進してきました。2020 年から 2024 年の間に、GPE への支援を含め、教育分野に総額約 20 億ドルの支援を様々な形で実施しています。我々は、今後も GPE と連携し、誰ひとり取り残さない包摂的、公平で質の高い教育の実現に向けた支援を進めてまいります。

昨年、日本は、第9回アフリカ開発会議（TICAD9）の場で、アフリカにおいて、GPE を通じたものも含め、質の高い基礎教育へのアクセス拡大を支援する考えを表明しました。本年は前年実績比約 30%増となる総額 10.62 億円（708 万ドル）を GPE に対し拠出しました。その大部分はアフリカ向け支援に充てられております。

加えて、GPE 他関係するステークホルダーとの調整が整うことを条件に、日本は JICA による 20 億円の共同出資事業等を含む貢献の実現を目指してまいります。

GPE2030 では、新たなパートナーシップの基盤となるこうした共同出資による協力を一層推進し、パートナー国の持続可能な教育財政の強化に貢献してまいります。